



2018年11月11日 御報恩御講の様子

慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について

住職 近藤道正

法遍寺は静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日蓮上人が開基となつて、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人の出世の本懐である三大秘法の大御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

① 講中のみなさまへ

大聖人は経王御前御書に、「法華経の妙莊嚴王品という経文には、妙莊嚴王とその妃(浄徳夫人)が、二人の太子(浄蔵・浄眼)に導かれて成仏した。これと同じく、四条金吾殿の二人の子は、現世において必ず後を継ぐ孝子に成長し、後生はこの子らに導かれて仏になる」(趣意 六三五頁)旨仰せられています。私たちは信心をさせて頂きながら、ともすると年を経るにしたがって純粋性を失い信心が濁っていつてしまうことがあります。子供の穢れない信仰の姿がどれほど手本になり、導き手になるか測り知れません。法統相続(ほつとうそうぞく)が肝要です。親の真の「慈悲」は、我が子にこの仏法を教えることです。

② 創価学会に籍を置くみなさまへ

池田大作の慢心の表れは、第66世日蓮上人への暴言など数々ありますが、その起因は正本堂の建立にあります。池田は自分が広宣流布を達成させたという慢心を起こして、正本堂を「日蓮大聖人御遺命の戒壇」だと認めさせようと宗門に迫りました。しかし日蓮上人はそれを拒否し、訓諭をもって「広布途上における大御本尊安置の殿堂」(趣意)と意義づけられました。この御指南に承服できなかった池田は、宗門に対する反感を強め、「自分が建立したのだ」との慢心を増長させました。これが後の「昭和52年の教義逸脱問題」に発展する要因です。次号ではこの問題に触れてまいります。池田の、日蓮正宗からの逸脱の経緯を知り、あなたが本当の信心の道に帰還なさるよう願っています。

③ 正しい宗教に関心のある皆様へ

世の中には、教祖を「生き神様」と称して信じ崇めるものがあり、この教祖は、なんらかの啓示を受けて特別な能力を得たといわれます。しかし、仏教の視点から考えますと、昔、釈尊は、すべての世界は因果の道理によって構成されており、因果を説かない教えは真実のものではないと、当時、生き神と称される者たちを喝破しました。要はいかなる因行を修行したのか、ただ果のみが突然表れる奇跡などないことを知らなければなりません。また、経文に予証される聖人が否かという点です。法華経には、末法という今の時代、日蓮大聖人が法華経の行者として現実の五濁の世に出現されて、法華経を体現し、人々を根底から救うことが示されています。道理・文証・現証のすべてに通達した日蓮大聖人の教えに身を置き、真実の幸福人生を得て頂けるよう、お待ちしております。

第22号

法遍寺 から大切な 皆様へ

2018年12月1日

日蓮正宗 年間方針

行動の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

人材育成

勇猛果敢の折伏

年間実践テーマ

① 勤行・唱題で折伏達成

功德の源泉

② みんなで声かけ御講参詣

罪障消滅と

折伏成就

③ 支部総登山で育成推進

心身浄化と

功德无量

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(TEL:0561-54-9226)

相談無料